

夢をつなぐ 科目選択の一例

普通科総合選択制の「エリア」は、興味・関心を高めて進路実現をめざすためのものです。そこで、自分の進路、興味・関心に合わせてエリアを選び、エリア指定科目と自由選択科目の組み合わせにより、一つの領域について深く学習したり、幅広い領域にわたって学習するなど、進路実現にむけて生徒の希望に可能な限り対応できるよう科目選択を進めています。

- ① Aさんは、福祉の分野に関心があり、将来は介護福祉系の大学や短大、専門学校への進学を希望しています。そこで、福祉こどもエリア福祉フィールドとを選択し、自由選択科目では福祉に関する科目と進学に必要な科目を選択しました。



- ② Bさんは、将来保育士になりたいと考えています。そこで、福祉こどもエリアこどもフィールドを選択し、自由選択科目ではスポーツに関する科目と進路に関係する科目を選択しました。



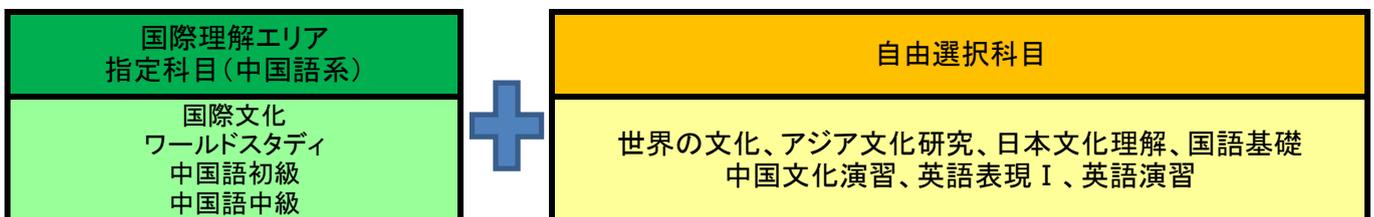
- ③ Cさんは、将来、看護師をめざしており、高等看護専門学校への進学を希望しています。そこで、自然科学エリアを選択し、自由選択科目では進学に必要な科目や生物・化学の科目を選択しました。



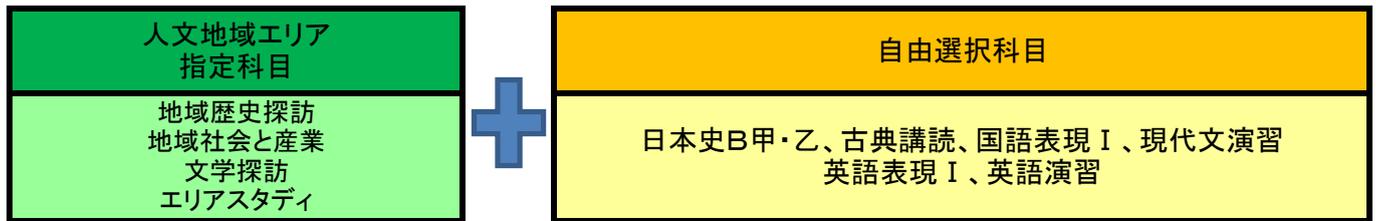
- ④ Dさんは、語学の力を伸ばしながら、大学進学を希望しています。そこで、国際理解エリア(英語系)を選択し、自由選択科目では語学に関する科目と進学に必要な科目を選択しました。



- ⑤ Eさんは、中国帰国生ですが、日本語・中国語・英語の3カ国語を生かして、将来は異文化交流の「架け橋」になる仕事をしたいと考えています。そこで、国際理解エリア(中国語系)で中国語を選択し、自由選択科目でも語学に関する科目を選択しました。



- ⑥ Fさんは、地域の歴史や文化に関心があり、卒業後は文系学部に進学しようと考えています。そこで、人文地域エリアを選択し、自由選択科目では進学に必要な科目を中心に選択しました。



- ⑦ Gさんは、自然科学に関心があり、理数系の力を伸ばして大学の理工系学部への進学を希望しています。そこで、自然科学エリアを希望し、自由選択科目でも数学や理科を中心に、進学に必要な科目を選択しました。



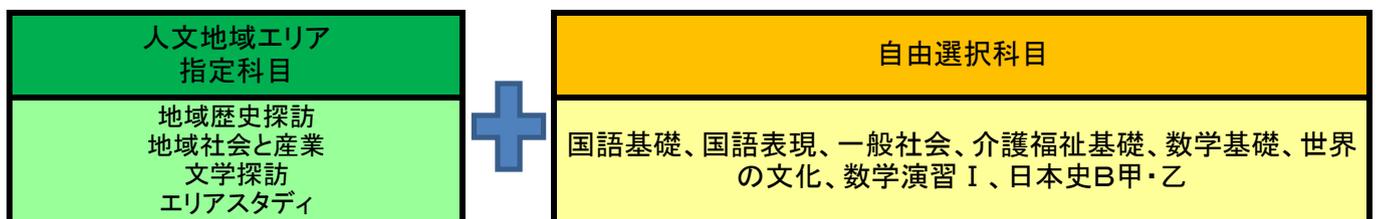
- ⑧ Hさんは、コンピュータ関連の仕事に興味があり、高校卒業後は大学に進学してより深く学びたいと考えています。そこで、情報エリアを選択し、自由選択科目で情報に関する科目と進学に必要な科目を選択しました。



- ⑨ Iさんは、中学時代演劇部に所属しており演劇が好きです。そのため、ダンスや音楽、文学などの基礎的なものを身に付け自分を磨きたいと考え、自己創造エリア(芸術系)を選択しました。



- ⑩ Jさんは、これからも地域の一員として就職をと思っています。そこで、人文地域エリアを選択し、得意分野を伸ばして、幅広く興味・関心のある自由選択科目を選択しました。



- ⑪ Kさんは、中学校の時、運動部に所属していました。将来のことはまだ未定ですが、高校では部活動も頑張りたいと思い、自己創造エリア(スポーツ系)を選択しました。

